

平成24年6月1日

日本万引防止システム協会
会員各位

日本万引防止システム協会
会長 山村 秀彦

「EASステッカー」及び「EAS導入店表示POP」貼付促進のお願い

拝啓 初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本万引防止システム協会各社は2002年（平成14年）12月より、加入各社共通の「ペースメーカー等医療機器装着者に対し、EAS機器の設置場所を明示するためのEASステッカー」を貼付してまいりました。その後、更に徹底してEAS機器の存在を示すための「EAS導入店表示POP」を製作し、EAS機器の設置場所近辺に貼付いただくよう、2007年（平成19年）7月より実施しています。

ところが昨年、お店の店頭で現実には100%貼付されていないという調査報告がなされました。日本万引防止システム協会としては、事の重大性を鑑み3月に「EASステッカー及びEASPOPの貼付100%促進化委員会」を設置し、さまざまな調査の結果、下記のような結論になりました。EAS機器を販売設置している皆さま及び設置先の皆さまに対して、次のような施策を行い、100%貼付を目指します。各位の協力をお願い申し上げます。

<「EASステッカー及びEASPOPの貼付100%促進化委員会」の報告>

1. 開催：平成24年4月13日、4月26日、5月24日

2. 検討結果

① 平成14年～15年の総務省の試験結果後の動向

日本不整脈デバイス工業会：岩井 洋氏 及び USCIホールディングス(株)：豊島健氏から、レクチャーを受け次のような結論を得た。

①-1. 平成14年度、平成15年度の2カ年度に渡り総務省が実施した『電波の医用機器等への影響に関する調査』において、アンテナに正対し近づく試験では、まったく影響がなかったEASは1台も無かった。(豊島氏)

①-2. 今後も総務省の調査に準じた安全性確認試験は相互協力のもと継続して実施していく必要と認識している。(豊島氏、岩井氏)

①-3. 国内に関しては、携帯電話・RFID機器・無線LAN機器・EAS側もペースメーカー側も総務省、厚労省の方針に基づいた対応を求められている。総務省の定めた『各種電波利用機器の電波が植え込み型医用機器へ及ぼす影響を防止するための指針』に基づいて対応すべきであり、総務省が作成したEAS・RFID機器等に

関する指針のリーフレットや総務省のホームページに記載があるのでこれを用いて対応すれば正しく対応できるものと思われる。(豊島氏、岩井氏)

- ①-4. 来店される方(ペースメーカー装着者とその家族)から見れば、EASの区別は出来ない。また調査の際に省庁もEAS業界全体での対応を望んでいたものであり、この考え方どおりに行動された方が良いと考える。(豊島氏)
- ①-5. 待ち合わせなどアンテナ近くに長時間留まる場合は、3m以上離れた場所で行う。この離隔距離があればペースメーカーに重大な影響が起きないことは総務省の調査で確認している。(豊島氏)

② 市場の調査

ヒヤリング結果から、EASステッカーについては概ね認知され貼付もなされているがEASPOPに関しては認知されていない傾向が判明した。

またステッカーに関しては周知以前の古い時期に設置したものについては現在も未貼付の可能性が高い。

当委員会はEASPOPに関する認知度向上のための施策実施と、過去に設置した未貼付機へのEASステッカー貼付促進策を検討する必要があるとの結論に至った。

③ 新EASPOPのデザインに関する審議(末尾図参照)

<選定の主な理由>

- ・ゲートを通過する挿絵があり、一目でわかりやすい。社会貢献という表現が良い。この表現であれば店舗だけでなく図書館にも貼付できる。

④ ステッカーの貼付位置と貼付枚数に関する検討事項

アンテナの設置幅が1800mm未満の場合も今後は両側貼付に変更することがペースメーカー装着者にとって見やすくなる。

またステッカー貼付高さの基準はゲートデザインの多様性を考慮し、より貼付しやすくなるよう現状の1000mm~1500mmから0mm~1500mmに改めることが決定された。

⑤ 小売業団体宛に文章で意義と貼付促進の協力依頼をする予定です。

⑥ 各省庁及び関係部門の意見聴取

総務省、厚生労働省、経済産業省、一般社団法人不整脈デバイス工業会、日本ペースメーカー友の会を訪問し、新EASPOPのデザイン変更の意見調書を行った際、担当官より**ステッカーに関しては100%貼付するよう強く要請された。**

以上の報告によりJEAS会員の責務として、ペースメーカー等医療機器装着者の皆様に安心していただけるように、次の諸対策を実行することとしました。

JEAS会員各位のご協力をお願い申し上げます。

新POP案

現在のEASステッカーと同じ大きさのデザインをPOPの中に入れる。



＜JEAS各位に対するお願い＞：スタートは平成24年7月2日（月）とする。

1. EASステッカーを一本一本のゲートの内側に貼る。
2. EASステッカーの貼付位置を現実に合わせて高さを0～1500mmとし、出来るだけ目につきやすい位置に貼る。
3. ゲートにお客様が宣伝用のカバーを被せる場合、EASステッカーをカバーの上から貼る、あるいはカバーに窓を開ける又は下を空ける等の工夫によりステッカーを見えるようにお願いします。
4. JEAS各社は設置完了報告書にEASステッカーの貼付完了をチェック項目として入れ、設置先の確認をいただくようにお願いします。
5. EASPOPのデザインを見直し100%貼ることを目指す。EASPOPはゲートの設置位置の近くの正面入口など、お客様の見やすい場所に貼る。
6. JEAS各社はゲート設置時に、設置完了報告書にEASPOPの貼付完了もしくは貼付依頼をお客様に行ったことをチェック項目として入れ、設置先の確認をいただくようにお願いします。
7. 店舗訪問時や保守対応などで、ステッカーやPOPが貼られていないゲートを見かけた場合は、ステッカー又はPOPを設置先にお渡しし、貼付いただくようお願いする。
8. 日本万引防止システム協会、日本心臓ペースメーカー友の会、一般社団法人日本不正脈デバイス工業会チラシを作成し直します。
9. 4項及び6項の設置完了報告書をお使いでない時は、それに準じた書類で結構です。
10. 上記事項をまとめてマニュアルに致します。(7月2日までに配付予定) 以上